

在宅自己導尿における手技の実態調査

西病棟3階 ○斎藤 佳恵 水口 雅代 丸谷 晃子
竹内 弘美 富田 静江

keywords：神経因性膀胱、在宅自己導尿、清潔操作

はじめに

清潔間歇自己導尿（Clean Intermittent Catheterization、以下CICとする）とは膀胱に溜まった尿をカテーテルで、間欠的に排出する方法である。残尿の多い排尿困難症例や尿失禁のコントロールなどに有効であることから、泌尿器科をはじめ、多くの診療領域において普及している。CICは留置カテーテルとは異なり、膀胱に溜まった尿を定期的に排出させる、より自然排尿に近い排泄手段であり、感染症の心配もほとんどない。しかし、私たちは入院中の患者で清潔操作が十分でない事例に直面し、在宅自己導尿では清潔操作の継続が困難な実態があるのではないかと考えた。そこで、CICを行っている外来通院患者の在宅自己導尿における手技の実態を把握し、適切な指導方法を導き出したいと考えた。

用語の定義

CICの指導：手洗いの施行、尿道口の消毒を行うように指導している。

膿尿：検尿で顕微鏡400倍で1視野中に白血球が5個以上認められたもの

I. 研究目的

在宅でCICを行っている患者を対象に、自己導尿の手技の実態調査を行い、指導の課題を明らかにする。

II. 方法

1. 研究期間

2004年5月1日～7月1日

2. 対象

当院泌尿器科外来を受診し、在宅自己導尿指導料

を受けている患者50名

3. 方法

1) 外来カルテより基礎情報、過去5年の検尿（感染の有無）、DIP（膀胱機能と上部尿路機能）などを調査。

2) 郵送法による質問紙調査

(1) 対象の背景、(2) CIC開始時期、(3) 手洗いの有無、(4) 尿道口の消毒の有無、(5) カテーテルの種類などについて選択的的回答形式および自由記述の質問紙を作成し、調査の趣旨の説明書、同意書とともに対象者に郵送した。(表A参照)

4. 分析方法

調査で得られたデータは、単純統計処理を行い、自由記述の内容については看護師5名で検討した。

5. 倫理的配慮

調査の結果は研究目的以外に使用されないこと、調査の参加の有無は自由意志であること、個人の情報においては秘密を厳守することを文書に示した。

III. 結果

1. 対象の背景

性別は男性31名、女性19名で年齢は4～91歳。平均年齢は53.4±25.9歳であった。CIC年数は5ヶ月～21年、平均7.4±5.7年であった。

2. 対象の疾患

神経因性膀胱が44名(88%)、前立腺肥大症が4名(8%)、不明(尿閉)が2名(4%)

3. 上部尿路荒廃の因子

膀胱変形が11名(22%)、膀胱尿管逆流症が5名(10%)、水腎症が3名(6%)であった。

4. 膿尿の出現(表2参照)

経過中を通して10回以上検尿を行った42例中40例(95%)には少なくとも膿尿が認められた。50%以上の頻度で膿尿を認めるものを「感染の多い群」、50%未満のものを「感染の少ない群」とする

と、「感染の多い群」が9例、「感染の少ない群」が33例であった。性別、年齢、CIC年数は感染頻度と有意差は認めなかった。

表2 感染の多い群と少ない群の比較1

		(n=42)		
		感染の多い群	感染の少ない群	
性別	男性	6名(14%)	20名(48%)	NS
	女性	3名(7%)	13名(31%)	
年齢	60歳未満	5名(12%)	15名(36%)	NS
	60歳以上	4名(9%)	18名(43%)	
CIC年数	5年未満	2名(5%)	16名(38%)	NS
	5年以上	7名(17%)	17名(40%)	

5. アンケートの結果 (表3参照)

アンケートの結果では、手洗いをを行っている者が17名(71%)、尿道口の消毒を行っている者が14名(58%)であった。カテーテルの種類はセルフカテーテルを使用している者が2名(8%)、ディスポカテーテルを使用している者が22名(92%)であった。

また、CICの手技について回答のあった24名について感染頻度との関連を検討した。手洗いの有無、尿道口の消毒の有無、カテーテルの種類的项目において有意差は認められなかった。

表3 感染の多い群と少ない群の比較2

		(n=24)		
		感染の多い群	感染の少ない群	
CIC回数(n=40)	5回未満	2名(5%)	15名(36%)	NS
	5回以上	7名(18%)	18名(43%)	
手洗い(n=24)	あり	5名(21%)	12名(50%)	NS
	なし	0名(0%)	4名(17%)	
尿道口の消毒(n=24)	あり	2名(8%)	12名(50%)	NS
	なし	3名(13%)	7名(29%)	
カテーテルの種類(n=24)	セルフカテ	0名(0%)	2名(8%)	NS
	ディスポ	5名(21%)	17名(71%)	

6. CICに対する思い (自由記載)

「深夜の導尿が辛い」「冬は尿量が多く、導尿回数が増えるので大変」「外出や旅行時の導尿が不都合」「カテーテルの料金がかかる」等の記載があった。

IV. 考察

1. CICにおける清潔操作の実態

今回、調査を行ったところ、清潔操作と尿路感染の出現頻度には有意な差は認められなかった。Lapidesら¹⁾によって提案された方法は、消毒は不要で、十分に手洗いを行ってカテーテルを挿入するというものである。CICの最大のポイントは膀胱内を低圧に保つことであり、決められた時間に導尿を行い、残尿をできるだけ少なくすることが感染を予防する上で重要であると述べられている。今回の調査は清潔操作の程度はあまり重要ではないという過去の報告に一致する結果と考えられる。私たち看護師はCICにおいて清潔操作が最も重要であると思いがちである。今回の調査結果や過去の報告から、清潔操作よりも、CICの回数を増やして残尿を少なくするように指導することが必要であると思われる。

今回の調査は少数例の検討のため、結果をもとに清潔操作の指導を大幅に変更することは当面考えていないが、行き過ぎた清潔操作の指導は患者や家族のCICに対するコンプライアンスの低下を招くとも考えられ、CICの清潔操作についての指導は再検討していくことが必要であると考えられた。

2. CIC指導における今後の課題

CICに対する思いについての自由記載から、夜間、冬季の導尿や外出先での導尿の不都合、カテーテル使用による経済的負担を感じているということが明らかになった。嵯峨²⁾は「CICは排泄にかかわることだけに患者自身が周囲に公開し、協力を得る心境に至ることは難しい。患者の負担は内服管理や自己注射などよりも大きい」と述べている。CICを継続するにあたって、精神的、社会的、経済的負担が生じていることを理解し、患者が羞恥心を感じることなく、医療従事者に不安や不満を語るができるように、信頼関係を作ることが大切であると考えられる。患者の思いを傾聴し、個別性を重視した指導を行っていく必要があると思われる。

V. 結論

在宅でCICを施行している50例を対象に尿路感染の有無と、CICの手技との関連を調査した。感染の多い群と少ない群では症例の背景、CIC回数、清潔操作の手技等に有意な差は認められなかった。今後CICを指導していく上で、清潔操作の程度には再検討を加える必要がある。また、CICを行っている患者の負担を理解し、個別性を考えた指導が必要であると示唆された。

引用文献

- 1) Kunin,CM. 尿路感染症—診断, 予防および管理—。名出頼男ほか訳。東京, 近代出版, 1990, 233-77
- 2) 嵯峨洋子: 外来におけるCIC指導の実際, ウロ・ナーシング, 6 (3), 16 - 22, 2001.

参考文献

- 1) 吉田修: 神経因性膀胱外来, 2 - 5, 株式会社メジカルビュー社, 1998.
- 2) 田中純子: こうすればうまくいく! CIC指導, ウロ・ナーシング 9 (2), 58 - 61, 2004.

表1

在宅自己導尿の手技に関する調査票

記入にあたってのお願い

- ・設問1から順にお答えください。一部の方だけにお答えいただくものもありますので、設問の指がにしてお読みください。
- ・それぞれの設問に対し、当てはまる数字に○印をつけたり、具体的な内容を記入したりしてください。
- ・可能な限りすべての事項につき、率直なご回答を頂きたいのですが、質問の性格上、あるいは個人的なご事情によって答えにくい場合は、その設問に関しご回答の必要はございません。

・現在の年齢 【 】歳

・自己導尿を開始された月日 【 】年【 】月

・自己導尿を開始された時に指導を受けた消毒薬名を記載してください。【 】

・以下の該当する項目に○印をつけて下さい。

1. 性別をお尋ねします。
男性【 】 女性【 】
2. 導尿をする人についてお尋ねします。
本人【 】 家族【 】 (続柄:)
3. カテーテルの種類をお尋ねします。
ネラトンカテーテル (ディスポ)【 】 セルフカテーテル【 】
4. 自己導尿の指導を受けた施設および場所についてお尋ねします。
施設【 】
場所 外来【 】 入院中【 】
5. 自己導尿の手技についてお尋ねします。
1) 初回指導を受けたときと現在の手技には違いがありますか?
はい【 】 いいえ【 】

「はい」と回答された方は、その理由を教えてください。

2) 現在、尿道口の消毒をしていますか?

はい【 】 いいえ【 】

(1) 2)で「はい」と回答された方にお尋ねします。

・消毒薬は何を使用していますか?

() ベゼトン液
() 清浄綿
() その他【内容: 】

(2) 2)で「いいえ」と回答された方にお尋ねします。

・消毒薬をしていない理由を教えてください。

() 消毒をしなくてよいと指導されたので最初からしていない。
() 面倒だから中止した。
() 導尿するときに忘れやすい。
() 経済的に負担がかかる。
() その他【内容: 】

3) 自己導尿の直前に手洗いをしていますか?

はい【 】 いいえ【 】

「いいえ」と回答された方は、その理由を教えてください。

4) 自己導尿でカテーテルに消毒剤を使用していますか?

はい【 】 いいえ【 】

「いいえ」と回答された方は、その理由を教えてください。

5) 膀胱内に300ml以上ためないほうがよいことを知っていますか?

はい【 】 いいえ【 】

「いいえ」と回答された方は、その理由を教えてください。

6) 過去に尿が感染して発熱したことがありますか?

はい【 】 いいえ【 】

「はい」と回答された方は、その時期と対処方法について教えてください。

いつごろ:

対処方法:

7) 排尿記録をつけていますか?

はい【 】 いいえ【 】

「いいえ」と回答された方は、その理由を教えてください。

8) 自己導尿で困っていることは何かありますか?

はい【 】 いいえ【 】

「はい」と回答された方は、内容を自由にお書きください。

9) 現在の自己導尿に満足していますか?

() 非常に満足している
() やや満足している
() あまり満足していない
() 満足である

10) その他、自己導尿に対するご意見、ご感想、看護師に対するご意見がありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。